

平成 28 年度 総合研究院 分子連関相乗系研究部門成果報告会

日時：3月31日（金）13:00～18:40

場所：神楽坂キャンパス2号館211教室

13:00 開会の辞（田所部門長）

13:05-14:15 部門メンバー（物性系）による講演1（各10分）

榎本真哉「 π 電子系環状構造を持つ2価カチオンを用いた新奇ジチオオキサレート錯体の構造および磁性」

磯田恭佑「N-Heteroacene を用いた刺激応答性発光材料の創製」

田所 誠 「プロトン電子連動現象を示すヘテロ接合型 OsRu 錯体結晶の特異的な酸化還元挙動」

菅谷知明「二重発光性イリジウム(III)錯体の発光メカニズム解明と発光挙動のスイッチング機能評価」

芳賀正明「電極表面分子膜によるレドックス活性 MOF 結晶内へのイオン取込みの制御」

亀渕 萌 「pH 応答性透明発光フィルムの開発とプロトンによる発光色制御」

遠藤一央「DFT 計算による EuZn 複核錯体の電子状態及び π 共役系高分子の NMR シフト」

14:15 ~ 14:30 休憩

14:30-15:00 招待講演1（30分）

宮坂 等（東北大）「配位高分子における物質・イオン輸送による磁気相制御」

15:00-15:50 部門メンバー（バイオ系）による講演2（各10分）

佐竹彰治「機能性シリカゲルクロマトグラフィーにおける環状ポルフィリン化合物の特異的分離に関する考察」

青木 伸「シクロメタレート型イリジウム(III)錯体の選択的置換反応と分解反応の発見と応用」

紙野 圭 「生物接着とバイオマス分解酵素からのタンパク質材料の創成」

鳥越秀峰「鉛イオン存在下で形成されるスプリット4本鎖DNA構造とヘミンの複合体のペルオキシダーゼ活性による標的遺伝子検出」

宮本悦子「ケミカルロックダウン(CiKD)法：低分子化合物による標的タンパク質のプロテアソームによる分解誘導」

15 : 50~16 : 10 休憩

16 : 10-16:40 招待講演 2 (30 分)

張 浩徹 (中央大) 「有機配位子への電子・プロトンプーリングに基づいた動的機能」

16 : 40-17:40 部門メンバー (構造系) による講演 3 (各 10 分)

本田暁紀 (宮村研) 「長いアルキル基を導入した色素分子の冷結晶化」

秋津貴城 「キラルシッフ塩基金属錯体とアゾ色素の複合材料の理論的 MD 解析」

今堀龍志 「外部刺激によって分子間自己不活性化 / 分子内協同活性化を切り替える刺激応答性
分子触媒の開発」

河合英敏 「新規水素結合モチーフとしての縮環マロナミド : 次元制御構造の構築」

斎藤慎一 「[2] ロタキサンにおける動的挙動の制御とキラリティー」

根岸雄一 「高速液体クロマトグラフィーを駆使した合金クラスターの超精密組成制御技術の
確立」

17 : 40~18 : 00 休憩

18 : 00-18:30 招待講演 3 (30 分)

速水真也 (熊本大) 「機能性界面および層間における錯体分子の構築」

18 : 30 閉会の辞

18 : 40 ミキサー (8 号館地下)